



令和5年度 校長だより

令和5年7月20日(木)

春日の風Ⅱ

No.4

文責 松下 義彦

令和5年度 前期前半を終えるにあたり

みなさんこんにちは。今日で令和5年度の前期前半が終了し、明日から35日間の夏休みに入ります。夏休み期間中は、前期前半の反省をして、後半に向けて新たな目標を設定する大事な時期でもあります。自分自身のこれまでの振り返り、これまでに何ができるようになったのか、逆にまだまだ課題として改善していかなければいけないことは何なのかをしっかりと見つめ直してください。

そこで今日は、校長先生なりに春日中学校全体の前半を振り返ってみたいと思います。

まず、行事においては、コロナも収まり、予定されていた学校行事も順調に進めることができました。体育会においても3年生のリーダーを中心に、クラスやブロックでまとまり、学校全体として素晴らしい体育会を見せてくれました。参観していただいた保護者や地域の方からもたくさんのお褒めの言葉をいただきました。みなさんの素晴らしさを、特に3年生の力のすごさをあらためて知ることができました。その後、この体育会の経験を活かし、9月に行われる2年生は修学旅行、1年生は自然教室の準備を実行委員を中心に進めているようです。ぜひ、思い出に残る素晴らしい学年行事にしてください。

また、中体連大会においても見事筑前大会や県大会に出場を果たしたチーム、逆に、惜しくも敗れたチームもありますが、どの会場でも、最後まであきらめずに頑張っている部活動生のみなさんの姿を見ることができ、とても感動しました。

次に、学習面ですが、みなさんどうでしょうか。授業はしっかり受けられていますか。また、家庭学習はできているでしょうか。2・3年生の人たちには昨年度末の集会で、今年は「やらされる学習」から「やる学習」への転換を図るようにという話をしました。その時話した内容は次のようなことです。

学習は自分でやるもので、やらされるものではありません。自分で勉強が分かるようになりたいと思ってやらない限り、どんなにやっても力はつきません。そこで、4月からは思い切ってライジングノート（自学ノート）をやめることにしました。

ライジングノートが無くなってラッキーと思っている人もいるかもしれませんが、勘違いしないでください。逆にこれからは自分の自主性が問われるようになるのです。これからは自己責任です。自分の将来を見据え、自己実現をするために自分自身で力をつけていかなければならいのです。今までのような言われてする強制的な学習から、自分でやる自主的な学習への転換です。今まで以上に自分のやる気が必要になってくるのです。自分の将来は自分で切り拓かなくてはなりません。「やらされる学習」から「やる学習」への転換をお願いします。

さて、前期を振り返ってみてどうでしょうか。「やらされる学習」から「やる学習」への転換はできているでしょうか。3年生は自分の目標とする進路を獲得するためにもこの夏が勝負です。自分に甘えることなく、「やらされる学習」から「やる学習」への転換をぜひお願いします。また、1・2年生も1年後2年後の受験の時に困らないように今のうちに学習の取り組み方について見直しを図ってください。

元プロ野球選手でメジャーリーグでも活躍したイチロー選手は次のように言っています。

「『できなくてもしょうがない』は、終わってから思うことであって、途中でそれを思ったら、絶対に達成できません。」

勉強も同じです。まずは、ほんの少しでもいいのでやることから始めてみましょう。

それでは、有意義な35日間の夏休みなるように頑張ってください。

夏休み期間中は様々な予定を立てている人もいるかと思いますが、水の事故等がないように安全に気をつけ、命を大事にすることを心がけて毎日を過ごしてください。

8月25日(金)の前期後半の始業日にみなさんと元気に会うことを楽しみにしています。

